

第4回腎疾患対策及び糖尿病対策の 推進に関する検討会	参考資料2
令和5年9月28日	

## 都道府県における腎疾患対策の取組紹介

# 北海道におけるCKD対策の取組み（普及啓発）

北海道で設置している慢性腎臓病対策連絡会議と患者会や関係団体等と連携し、世界腎臓デーに合わせ開催。

## ○住民向け講演会の開催

集合+オンデマンド配信による開催

**慢性腎臓病住民講演会**  
**「知ろう！学ぼう！  
CKD（慢性腎臓病）と糖尿病」**

日時：令和5年 **2月3日**（金）  
14：00～15：30（開場13：30）  
※定員50名

申し込み方法は裏面をご覧ください

場所：TKP札幌ビジネスセンター赤れんが前 カンファレンスルーム5A  
（住所：札幌市中央区北4条西6丁目1番地 毎日札幌会館5階）

オンデマンド配信：令和5年2月6日（月）～3月6日（月）  
※事前申込み制

『糖尿病と腎臓病で困らないために  
糖尿病の症状とその予防』  
講師：札幌医科大学保健医療学部 教授  
**齋藤 重幸 先生**

『慢性腎臓病（CKD）の予防と治療  
～大切な腎臓を守るためには～』  
講師：北海道大学病院 リウマチ・腎臓内科 診療准教授  
**西尾 妙織 先生**

【お問い合わせ】  
北海道保健福祉部健康安全局  
地域保健課がん対策係  
〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目  
TEL 011-204-5117

共催：慢性腎臓病対策連絡会議、北海道、北海道腎臓病患者連絡協議会、  
北海道糖尿病協会、全国健康保険協会北海道支部  
協賛：株式会社クニコ、ハイエル薬品株式会社  
後援：北海道医師会、北海道歯科医師会、北海道糖尿病対策推進会議、  
日本糖尿病学会北海道支部、日本腎臓病協会、北海道透析療法学会



## ○世界腎臓デー啓発パネル展の開催

パネル展



相談会



## 1、慢性腎臓病対策推進協議会

## 2、研修会

- ・オンラインで支援者向けの研修会を実施

## 3、「健康フェスタ～腎臓を大切に！！！！～」の開催

- ・県内ショッピングモールで、パネル展示や動画投影などを実施

## 4、県民公開講座

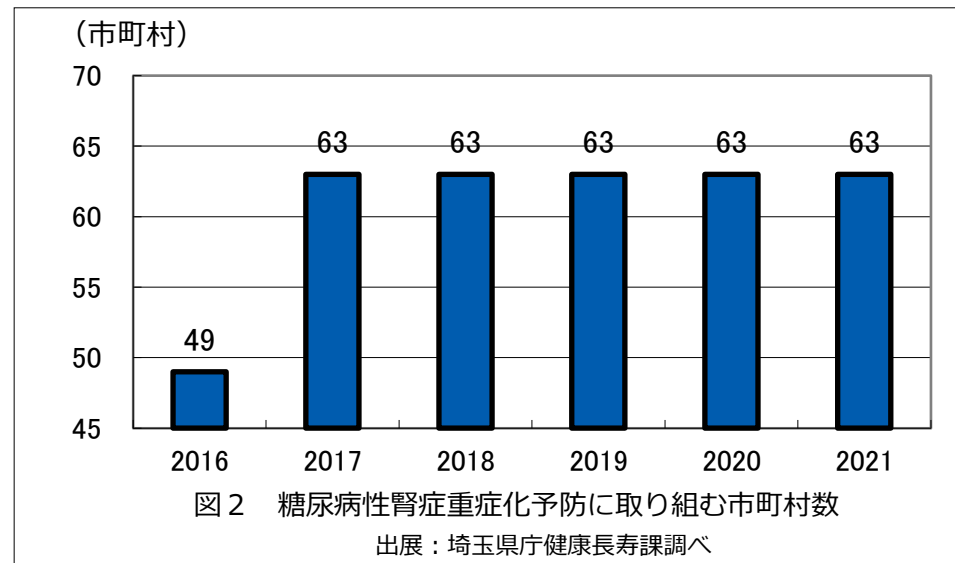
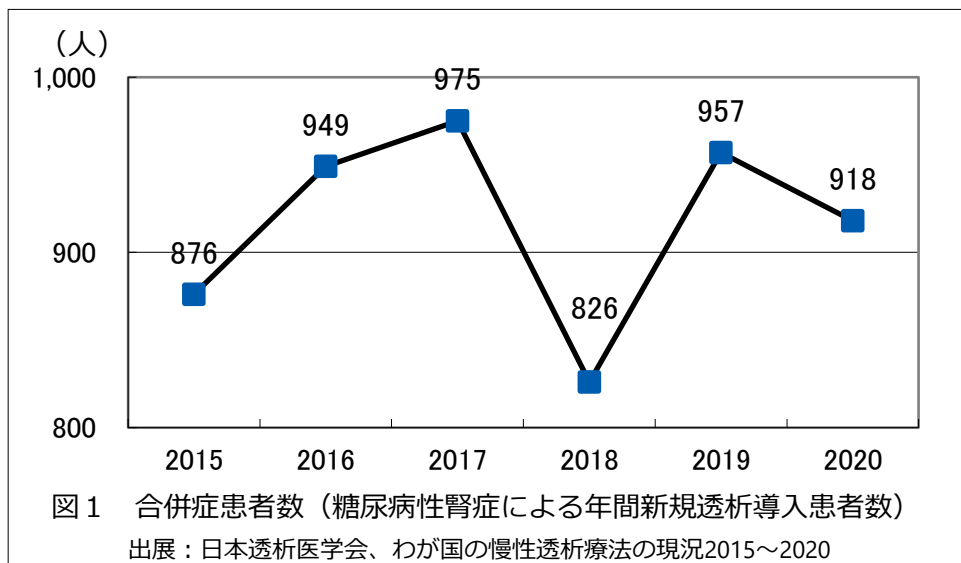
- ・講演と「腎臓何でもQ&A（パネルディスカッション）」を開催

## 5、啓発動画の配信

- ・県公式YouTubeチャンネルtsulunos（ツルノス）にて、CKD予防啓発動画を公開

# 埼玉県におけるCKD対策の取組み

## ● 埼玉県の糖尿病性腎症の概要



## ● 埼玉県の取組み

### 特定健診・特定保健指導従事者スキルアップ研修

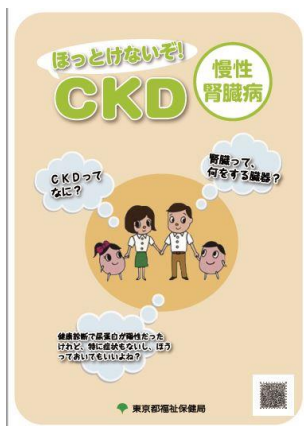
- 令和3年実施 「企業及び自治体における特定保健指導に関する取組について」  
(糖尿病重症化予防の重要性について講義を実施)
- 令和4年実施 「「簡単!」「これなら!」から行動変容を促す食生活支援の実際」  
(保健指導指導者を対象として、血糖値の高い者に対する食事指導法に関する研修会を開催)
- 令和5年予定 「CKDについて」  
(保健指導指導者を対象として、慢性腎臓病を予防するポイント、注意すべき検査値等に関する研修会を開催予定)

# 東京都におけるCKD対策の取組み

目的：CKDの予防について普及啓発を行うとともに、CKD患者の早期発見、早期治療により重症化・人工透析導入防止を図る。

## 普及啓発

### リーフレット「ほっとけないぞ！CKD」の配布



- CKDに係る基本的な情報を掲載し、医療機関から患者に配布
- かかりつけ医向けとして、専門医への紹介基準を掲載し、適切な紹介タイミングについての理解を促す
- 配布先：病院・診療所（内科等を標榜）、医師会、区市町村・保健所

### ホームページ「ほっとけないぞ！CKD」の運営



- ステージに応じた糖尿病・腎臓病の専門医によるアドバイスや糖尿病や高血圧などCKDの要因等を掲載
- 血液検査の結果を入力すると、腎機能の状態（CKDのステージ1～5）を調べることができる

<https://www.hokeniryo.metro.tokyo.lg.jp/shippei/ckd/>

## 東京都特殊疾病対策協議会腎不全対策部会の開催

- 慢性腎臓病対策の推進について検討を行う。
- 原則、年1回開催
- 専門医、都医師会、関係行政関係者を委員とする。

## 患者向け講演会の開催（患者団体と共催）

- 年1回開催
- 専門医等を講師として、患者・家族向けに、CKDについてや、食事療法についての講演会を実施



# 神奈川県におけるCKD対策の取組み

## ①-1 普及啓発

慢性腎臓病（CKD）の予防、重症化防止の知識を県民に普及啓発することを目的として、医療講演会及び相談会を特定非営利活動法人神奈川県腎友会に委託し、年度内に2回開催する。

## ①-2 普及啓発

○県民向けリーフレット

広く慢性腎臓病（CKD）の普及啓発を目的とする。

○かかりつけ医向けリーフレット

腎臓専門医への紹介の基準、糖尿病や高血圧等の患者に対する腎機能低下の予防方法、腎機能に影響する薬などについて啓発を行うことを目的とする。



## ②人材育成

慢性腎臓病（CKD）の予防や重症化防止、透析導入の防止を目的として、特定非営利活動法人日本腎臓病協会との共同で、医療従事者向け研修会を開催する。

## ③重症化予防

○神奈川県慢性腎臓病（CKD）対策連絡協議会の開催

⇒専門医、関係団体、行政で組織され、CKD対策について協議する。

## ④診療連携体制の構築

○神奈川県慢性腎臓病（CKD）診療連携構築協議会の開催

⇒かかりつけ医から腎臓専門医への診療連携による慢性腎臓病（CKD）の診療連携体制を構築する。

○県内の腎臓専門医リスト

○診療情報提供に係る共通様式 などの作成

## ⑤広報

県のホームページや県のたより等による広報を行ったり、各種講演会等の後援を行う。

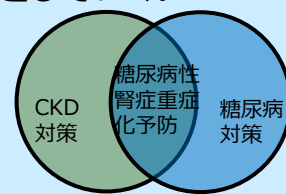
# 新潟県におけるCKD・糖尿病対策の取組み

## 【課題】

- 従来、糖尿病対策とCKD対策と分けて実施していたが、市町村、地域機関では、同じ担当者が両方の対策を担っており、効率化が必要。
- 糖尿病性腎症重症化予防の取組では、糖尿病専門医と腎臓専門医双方との連携が重要であり、双方の視点からの連携体制構築の検討が必要。

## 【今後の方向性】

課題の解決に向け、CKD対策と糖尿病対策を統合し、関係者で効率的・効果的にCKD・糖尿病の早期発見・重症化予防の取組を推進していく。



「取組の重なる部分＝糖尿病性腎症重症化予防」について、CKD対策、糖尿病対策双方の視点で検討することにより、効果的な取組の推進につながる

## 生活習慣病等重症化予防事業

### 【目的】

CKD対策と糖尿病対策を統合し、関係者で効率的・効果的にCKD・糖尿病の早期発見・重症化予防の取組を推進していくため、腎臓専門医、糖尿病専門医、関係機関等による検討を実施する。

### 【R4事業実績】

- 新潟県慢性腎臓病（CKD）・糖尿病対策推進協議会**：CKDや糖尿病に関する医療連携体制の構築等の専門的事項について検討し、本県におけるCKD・糖尿病対策の取組方針の決定、取組の評価を行う
- 新潟県慢性腎臓病（CKD）・糖尿病対策推進ワーキング**：主に普及啓発及び保険者・かかりつけ医における早期発見・重症化予防の推進に関する検討を行う
- 新潟県慢性腎臓病（CKD）・糖尿病地域連携推進部会**：主に地域における医療連携体制の構築及び保険者における糖尿病・CKD対策従事者の人材育成に関する検討を行う

## 生活習慣病重症化予防ネットワーク事業

### 【目的】

地域におけるCKD・糖尿病対策を推進するため、地域糖尿病・CKD協力医の養成、CKD・糖尿病対策関係者の育成を目指した研修を開催する。また、地域における連携体制を目指し、地域機関において会議・研修等を開催する。

### 【R4事業実績】

- 地域糖尿病・CKD協力医養成研修**：医師を対象。ハイブリッド及び録画配信による開催。  
\*新潟県地域糖尿病・CKD協力医 96名（R5.3末）
- 地域糖尿病・CKD協力医フォローアップ研修**：当課主催及びその他共催研修を実施。
- 慢性腎臓病（CKD）・糖尿病対策研修**：市町村、地域機関職員等を対象。オンライン開催。
- 地域慢性腎臓病（CKD）・糖尿病対策連携事業**：地域機関で会議、研修等を実施。

# 富山県におけるCKD対策の取組み（糖尿病対策と連動した取組み）

## 【事業の課題・背景】

- ・富山県における糖尿病性腎症を原因とする人工透析導入患者は約4割を推移し、減少に至っていない。
- ・そのため、患者および一般県民に対し、CKD対策の普及啓発を行うとともに、糖尿病重症化予防のための医療連携体制を整備し、CKDの重症化防止と透析患者の発生予防を図る。

## 普及啓発

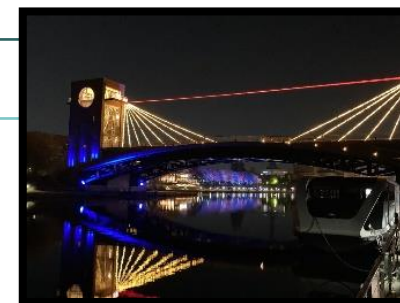
○世界糖尿病デー・日本糖尿病週間にあわせた県有施設のブルーライトアップ

○糖尿病に関する講演会の開催（NPO法人腎友会に委託）

- ・糖尿病重症化予防に関する講義、透析患者の体験談

○図書館とのコラボによる「糖尿病に関する展示」

- ・糖尿病に関するパンフレットや世界糖尿病デーのポスターの掲示と糖尿病に関する図書の展示



## 人材育成

○保険者を対象とした糖尿病重症化予防セミナーの開催（国保連合会と共催）

講師：糖尿病専門医、腎専門医

内容：専門医からの講義、事例検討会

## 医療連携体制の推進

○富山県透析患者等発生予防対策協議会の開催

糖尿病、慢性腎症による透析患者等の発生予防を図るため、かかりつけ医と専門医療機関、医療と保健との連携体制の構築・強化のための協議会を開催

構成員：腎専門医、糖尿病専門医、県医師会・郡市医師会、関係機関、医療保険者 等

協議事項：富山県における糖尿病対策事業について

富山県糖尿病性腎症重症化予防マニュアルの運用状況について

医療連携体制及び保健・医療の連携体制の推進について 等



# 福井県におけるCKD対策の取組み

## 【目的】

慢性腎臓病（CKD）や糖尿病の正しい知識の普及を図るとともに、適切な診療および保健指導を行う医療連携体制を構築し、早期発見・早期治療・重症化予防の取組を推進する。

## ○福井県慢性腎臓病（CKD）対策協議会

開催頻度：年2回

構成委員：糖尿病・腎臓病専門医、医師会、歯科医師会、看護協会、薬剤師会、栄養士会、臨床検査技師会、健診機関、市町・保険者・患者会代表、県等

協議内容：糖尿病やCKD対策における現状や課題の共有、イベントの企画、事業に関する評価、連携体制の構築に関する検討 等

～福井県糖尿病対策推進会議との合同開催～



## ○正しい知識の普及啓発

CKDの社会的認知度を高め、潜在的CKD患者への早期発見・予防を推進

### <出前講座>

- ・市町健康教室への専門医講師派遣

### <イベント>

- ・世界糖尿病デーや世界腎臓デーに併せたイベント開催
- ・「ふくい農林水産まるごとフェスタ」ブース出展

### <啓発記事>

- ・県内情報誌への啓発記事掲載

### <映像媒体を活用した知識の普及>

- ・糖尿病や腎臓病の知識や予防に関するDVD等の作成、市町での活用



## ○福井県糖尿病性腎症重症化予防プログラムの推進

### <プログラム概要>

糖尿病やCKDの重症化するリスクが高い医療機関未受診者や治療中断者を抽出し、医療機関への受診勧奨を行うとともに、保険者とかかりつけ医が連携して保健指導を実施することで重症化予防を促進し、人工透析導入者の減少を目指す。

### ■対象者の抽出基準

基準A：糖尿病 基準B：慢性腎臓病 ※未受診者・治療中断者

→保険者による抽出・受診勧奨・保健指導、情報提供書を活用したかかりつけ医のとの連携

糖尿病の有無に関わらず 医科歯科連携

### <データ分析・事業評価（R5）>

重症化予防事業効果分析：医療費や健診データについて、学識有識者の知見に基づいた統計分析技術によって分析するとともに、事業効果を推計し、事業成果を見える化する。

①基礎分析②重症化予防プログラムの効果検証③分析結果検証④市町説明会の開催

## ○保健医療関係者への研修の開催

- ・福井県糖尿病性腎症重症化予防プログラムにかかるフォローアップ研修会 ※かかりつけ医師への普及強化
- ・市町における保健指導にかかる研修会 ※市町の人材確保・支援

## ○透析医療調査

対象：県内透析医療機関（福井県透析施設ネットワーク）  
内容：透析患者数、新規導入患者数に関する県独自調査

## R5～病診連携の推進

- ・かかりつけ医と専門医の連携強化
- ・病診連携に関する検討部会等の設置
- ・専門医への紹介基準の整理
- ・病診連携にかかる様式の作成
- ・専門医療機関（専門医）リストの作成および周知 等

# 山梨県におけるCKD対策の取組み ～コロナ禍での普及啓発～

## 1 動画を活用した普及啓発

目的 県民が正確でわかりやすい情報を得ることで、  
予防行動がとれる

人間ドック・健診で腎臓に関する異常を指摘された患者様へ

対象者	視聴おすすめ動画の順番	C・検査結果の解説動画	
eGFR(腎機能低下)	1 次 6	8 (医療機関の受診が必要時)	
尿蛋白と血尿	2 次 6		
糖尿病(糖尿病の疑い)	3		
糖尿病+eGFR低下または尿蛋白	4 次 3		
腎のう腫	5		
高血圧	7		
1 廣瀬 真由 (eGFRって何?)	02:27		<a href="https://youtu.be/0PvR625dK">https://youtu.be/0PvR625dK</a>
2 原口 和典 医師 (尿蛋白と血尿)	04:16		<a href="https://youtu.be/0n278Nz921">https://youtu.be/0n278Nz921</a>
3 原口 和典 医師 (糖尿病とは)	07:20	<a href="https://youtu.be/0n278Nz921">https://youtu.be/0n278Nz921</a>	
4 古藤 文彦 医師 (糖尿病性腎症とは)	03:30	<a href="https://youtu.be/7MCG8Pp20">https://youtu.be/7MCG8Pp20</a>	
5 内村 幸平 医師 (腎のう腫と腎がん)	04:59	<a href="https://www.youtube.com/watch?v=3B7sDyD3W4">https://www.youtube.com/watch?v=3B7sDyD3W4</a>	
6 濵井 郁夫 医師 (CKDって何だ?)	04:50	<a href="https://youtu.be/0n278Nz921">https://youtu.be/0n278Nz921</a>	
7 齊藤 慶子 医師 (血圧の正しい測り方)	02:52	<a href="https://www.youtube.com/watch?v=wE068umdY">https://www.youtube.com/watch?v=wE068umdY</a>	
8 山本 菜月 医師 (知っていますか? 正しい医療機関のかかり方)	03:37	<a href="https://youtu.be/0n278Nz921">https://youtu.be/0n278Nz921</a>	

山梨県腎臓病対策協議会(YCKD)では人間ドック、健診などで腎臓に関する異常を指摘された方に向けて腎臓病啓発動画のご紹介を、YouTubeを使い積極的に行なっています。動画の作成は腎臓専門医、腎臓病診療に関する特別講師を務める廣瀬真由、古藤文彦、内村幸平の3名が担当し、10分程度の長さで分かりやすく正確な情報提供を心がけています。不安がちな病状に対して自覚の解明で悩まされた経験を取らないうちにしましょう。

動画の詳しい使い方  
ご自身の興味を深める上、質問票のどこかに該当する動画を選んでレシートの裏面に記載されたQRコードを、動画の説明画面に印刷してあります。パソコンからは印刷できないため、携帯電話からはQRコードを読み取ることでより簡単です。

山梨県ホームページ <http://www.yckd.org/>

山梨県ホームページ <http://www.yckd.org/>

山梨県ホームページ <http://www.yckd.org/>

山梨県ホームページ <http://www.yckd.org/>

- 山梨腎臓内科医会と連携した取組
- 各テーマ10分程度で動画を作成
- 腎臓専門医、腎臓病療養指導士、保健師、看護師など、多職種が専門分野を担当
- リーフレットは市町村、医療機関、健診機関、保険者等へ広く配布するとともに、県ホームページからもダウンロード可能とした
- 今後も新たなテーマで作成し、随時、YouTubeで公開予定  
(<https://www.youtube.com/playlist?list=PLnGnmWJOTSr5EjhAJDSaBxTPrbj03uYJ0>)

## 2 メールマガジンの配信

目的 働き世代の県民が、CKDの予防のための適切な生活習慣を維持したり、そのための取組を企業がサポートしたりできる

メタボの人は要注意！  
CKDと生活習慣病の悪循環

一般的に加齢によっても腎臓の機能は低下していきますが、CKDの発症や重症化には生活習慣が関わっています。特に、メタボリックシンドロームの原因である、腹部肥満、高血糖、高血圧、脂質異常症などはCKDの発症や進行に深く関わっています。CKDにより腎機能が低下していると動脈硬化も進行し、動脈硬化が進むと、血圧や血糖値、脂質異常をさらに進行させます。つまり、CKDとメタボリックシンドロームはお互いに悪影響を及ぼし合い、どんどんと症状を進行させていきます。

\*メタボリックシンドローム(高血圧、高血糖、脂質異常)  
\*慢性腎臓病CKD 腎臓の機能が低下  
\*脳卒中・心筋梗塞のリスクが増大 命にかかわる 病のリスクが高まる  
\*人工透析 腎臓に代わって 血中の老廃物を出す治療をする

悪循環 → 重症化すると...

血管が傷付けられ、もろくなったり、動脈硬化が起きたりする

←もっと詳しく知りたい方はこちら★  
山梨県ホームページ

山梨県 健康増進課 健康企画担当

- やまなし健康経営優良企業146社の健康づくりの窓口となる方へ、2週間ごと、7つのテーマでメールマガジンを配信
- 情報提供の内容は1分程度で読める文章量とし、添付ファイルを開かなくても上記資料が見える形にするなど、工夫してメールを送付
- 会社を通じた取り組みにより、普段アプローチが難しい働く世代や男性へ情報を届けることができた

【参考】CKDについて「聞いたことはある」「症状や病状、進行するとどのような状態になるか、予防方法のうち1つわかる」「2つ以上わかる」と回答した者の割合(実施前) 26.0% → (実施後) 91.8%



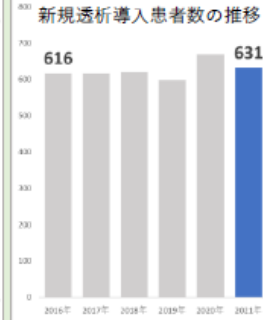
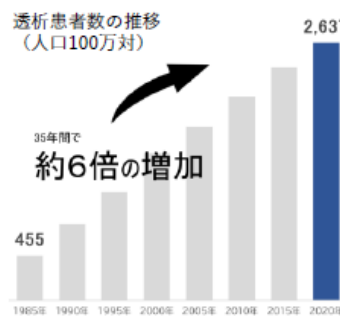
# 岐阜県におけるCKD対策の取組み

岐阜県の特徴

- ・人口約194万人、面積は全国7位と県土が広い。
- ・県内の腎臓専門医59人。人口が同規模の県と比べ少なく、地域による偏在がある。
- ・慢性透析患者数は増加の一途。年間新規透析導入患者は微増傾向。

出典 人口：総務省「人口推計（2022.10.1）」  
 面積：国土交通省国土地理院「全国都府県市区町村別面積調（2022.10.1）」  
 腎臓専門医：一般社団法人日本腎臓学会（2022.5.26）  
 年間新規透析導入患者：日本透析医学会「わが国の慢性透析療法の現況」

同規模人口県	腎臓専門医	人口100万対	全国順位
新潟県	100	46	16
長野県	81	40	28
<b>岐阜県</b>	<b>59</b>	<b>30</b>	42
群馬県	105	55	7
栃木県	78	41	27



目標

地域の実情に応じたCKDの取組み推進により

『2028年までに年間新規透析導入患者を**500人以下**に減少させる』

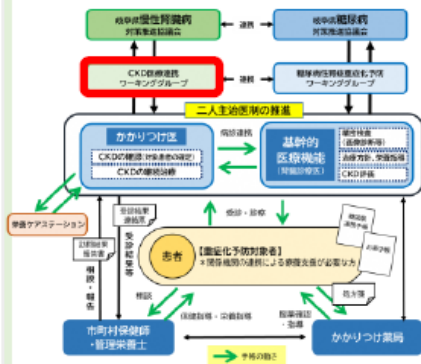
取組内容（地域連携・病診連携について）

## 岐阜県全体での取組み

### CKD医療連携ワーキンググループを中心とした取組み推進

- ・岐阜県の診療連携体制を協議し、岐阜県CKD連携マニュアル等の連携ツールの作成及び活用促進の実施。
- ・関係団体の役割を確認し、連携ツールを活用した地域の均てん化可能なCKD診療連携体制の構築の支援。

#### 〈推進体制〉



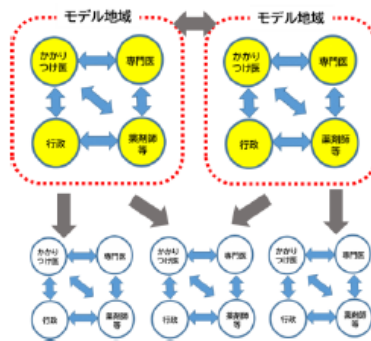
#### 役割の整理

- (県・地域医師会の役割)
- ・連携マニュアル等の活用促進
  - ・かかりつけ医向け研修会の開催
  - ・地域関係者の連携会議の開催 等
- (県薬剤師会の役割)
- ・CKDシールの積極的な活用
- (行政の役割)
- ・健診を契機とした医療との連携促進 (糖尿病性腎症重症化予防プログラムとの連動)
  - ・普及啓発 (健診の重要性や疾患理解等)



## 全体での取組みを踏まえたモデル地域での取組の展開

- ・健康課題や実施体制の異なる県内4地域をモデル地域に選定。
- ・モデル地域での積極的かつ主体的な取組みの実践。
- ・先進的な取組みから学び、県全体のボトムアップを図るとともに、県CKD対策を検証し、改善点を見つけ次の施策へつなぐ。



※モデル地域以外もマニュアルや連携媒体を用いた連携の実施

#### モデル地域の特徴

##### 1 医師会・1市地域 (2地域)

- ①地域内に専門医が揃っており、コンパクトな連携により取組みを進める地域
- ②課題の整理から病診連携に留まらず、減塩対策など環境整備も含めた取組み総合的な進める地域

##### 1 医師会、複数市町村 (2地域)

- ①専門医の不在かつ取組体制が異なる市町村をとりまとめ、連携体制の構築を進める地域
- ②糖尿病腎症対策をベースに取組みの充実・強化を進める地域

## 静岡県におけるCKD対策の取組

### 〔CKD研修会〕（令和4年度）

対象：県内の保険者及び市町の保健指導実務者等（302人が参加）

目的：慢性腎臓病、糖尿病性腎症及び末期腎不全を理解し、効果的な保健指導ができるよう実務者のスキルアップを図ること

内容：静岡県糖尿病等重症化予防対策検討会の委員に講師を依頼し、「慢性腎臓病の基礎知識と保健指導のポイント」についての講義を実施した。

行政報告として、静岡県糖尿病等重症化予防対策検討会における検討結果の報告を担当から説明した。

### 〔静岡県慢性腎臓病対策協議会〕（令和4年度）

県内の各地域におけるCKD対策の現状について、腎臓病専門医から報告を受け、県全体としての今後の取組等を検討した。

今後、病診連携の推進や災害対策について、取り組む必要があるとの意見があった。





# 兵庫県におけるCKD対策の取組み

## ○ シンポジウムの開催（NPO法人兵庫県腎友会と共催）

慢性腎臓病(CKD)に関する正しい知識の普及啓発を図るため、一般県民、医療関係者、糖尿病患者・家族、透析患者・家族の皆様を対象としたシンポジウムを開催

➤ 平成21年度から県内各地域で開催

### 【直近5年間の開催状況】

平成30年度：西宮市（阪神南地域）

令和元年度：（コロナにより中止）

令和2年度：赤穂市（西播磨地域）

令和3年度：丹波篠山市（丹波地域）

令和4年度：養父市（但馬地区）



## 兵庫慢性腎臓病シンポジウム 2022

開催日時 令和5年3月12日(日) (13:30~16:00)

開催会場 養父市 養父市立ビバホール

### プログラム



主催者挨拶	13:30
兵庫県 保健医療部 疾病対策課 課長 植田 勝明 氏	
I部 講演	
基調講演「慢性腎臓病の話」	13:30~14:20
公立八鹿病院 透析センター部長 大家 角義 先生	
食事管理「慢性腎臓病の予防と進行を防ぐ食事療法」	14:20~14:40
公立八鹿病院 管理栄養士 恵後原 美里 先生	
体験談「糖尿病からの透析導入」	14:45~15:00
NPO 法人兵庫県腎友会 理事 太田 敏 氏	
養父市の施策について	15:00~15:20
養父市健康福祉部健康課 保健師 細川 友美 氏	
II部 パネルディスカッション	15:30~16:00
座長 神戸大学院医学研究科腎臓・免疫内科学分野教授 西 慎一 先生	
パネリスト	
公立八鹿病院 透析センター部長 大家 角義 先生	
公立八鹿病院 管理栄養士 恵後原 美里 先生	
NPO 法人兵庫県腎友会 理事 太田 敏 氏	
養父市健康福祉部健康課 保健師 細川 友美 氏	
閉会挨拶	16:05
NPO法人兵庫県腎友会 会 長 松菱 理恵子	
主催 兵庫県 NPO法人兵庫県腎友会	
後 援 養父市、(一社)兵庫県医師会、(一社)養父市医師会、(公財)兵庫県健康財団、(一社)兵庫県民間病院協会、(公社)兵庫県看護協会、(一社)兵庫県薬剤師会、(公社)兵庫県栄養士会、兵庫県糖尿病協会、兵庫腎疾患対策協会、(特非)日本腎臓病協会、兵庫CKD対策・連携協議会、兵庫県腎臓研究会、兵庫県透析研究会、(一社)全国腎臓病協議会、	



# 徳島県のCKD対策の取組状況について

## 令和元年度

- ・徳島県慢性腎臓病連携協議会を設置
- ・徳島県慢性腎臓病病診連携基準を作成

## 令和2年度

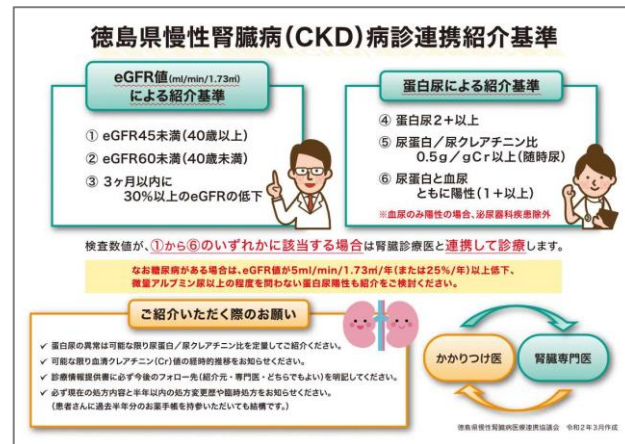
- ・病診連携基準を周知(全医療機関、市町村へ配布)
- ・CKD予防連携手帳を作成
- ・徳島県慢性腎臓病医療連携研修会開催(256名参加)

## 令和3年度

- ・CKD予防連携手帳を周知(医療機関への配布)
- ・徳島県慢性腎臓病医療連携研修会開催(144名参加)
- ・慢性腎臓病啓発県民公開講座開催(69名参加)

## 令和4年度

- ・CKD予防連携手帳の活用状況を調査
- ・徳島県慢性腎臓病医療連携研修会開催(153名参加)
- ・慢性腎臓病啓発県民公開講座開催(103名参加)
- ・協議会において、「徳島県CKDシステムフローチャート」を検討



【徳島県HP】

<https://www.pref.tokushima.lg.jp/ippannokata/kenko/kenko/201412160004>





# 高知県におけるCKD対策の取組み

## 1. 病診連携の強化

(1) 高知県慢性腎臓病（CKD）対策連絡協議会

慢性腎臓病（CKD）診療における病診連携の強化やCKD対策の検討を目的として開催

(2) CKD医療連携研修会

慢性腎臓病（CKD）対策におけるかかりつけ医と腎臓専門医が連携した共同診療体制を充実させる目的で、研修会を年1回開催

(3) CKDの診療可能な医療機関調査

かかりつけ医から専門医への紹介時や、県民が医療機関を選択する際の参考となるよう、慢性腎臓病（CKD）の診療可能な専門医がいる医療機関を県のホームページで公表

## 2. 新規透析患者調査

CKD対策の効果を経年的に検証するため、県内の新規透析導入患者数及びその属性を把握する目的で、県内透析医療機関（40施設）を対象に実施。

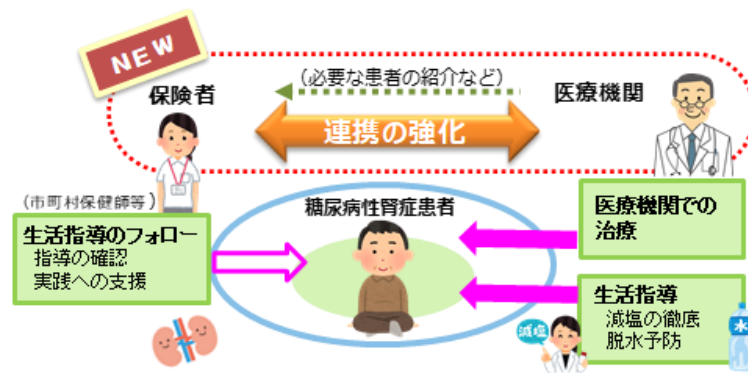
## 3. 普及啓発

世界腎臓デーに合わせてテレビ・ラジオ等のメディアで啓発を実施

(参考) 上記のCKD対策のほか、本県では、糖尿病性腎症対策を重点課題とし、以下の取組を実施

### 糖尿病性腎症透析予防強化プログラム（R2～）

モデル地域において、数年後に透析導入が予測される糖尿病性腎症患者に対して、医療機関と保険者が連携した生活指導に取り組み、人工透析導入時期の遅延を目指す。



# 佐賀県におけるCKD対策の取組み

## ■目的

地域において住民向け講演会等の開催や医療関係者を対象とした研修等を実施することにより、広くCKDに関する正しい知識を普及し、CKD対策に必要な人材育成等を図る。

## ■取組内容

### (1) 医療従事者研修会

- ・佐賀県内の医療機関及び市町の保健従事者等を対象に実施
- ・開催：年1回

### (2) CKD啓発キャンペーン

- ・世界腎臓病デー（3月の第2木曜日）に合わせて普及啓発を実施
- ・開催：年1回



## ■背景

- ・慢性透析患者数は微増傾向。今後も高齢化により増加の見込み
- ・人口透析導入の主要原疾患は、糖尿病性腎症が最多
- ・健診等での要受診者の未受診
- ・腎臓専門医の地域偏在



## ■目標

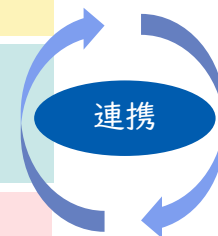
- 健診受診率の向上
- 重症化予防
- 医療連携体制の構築



新規透析  
導入患者数  
の減少

## ■連携体制の構築

- ①長崎県糖尿病性腎臓病重症化予防事業推進会議（事務局：国保・健康増進課）  
《内容》県版プログラムの推進、重症化予防事業の取組のための連携強化、評価に関する協議
- ②長崎県糖尿病対策推進会議（事務局：県医師会）  
《内容》糖尿病医療連携体制推進、医師の人材育成等 ※国保・健康増進課長・医療政策課長 委員参画
- ③長崎県CKD・糖尿病対策検討委員会（事務局：医療政策課） ※R4にCKD対策と糖尿病対策を統合  
《内容》県医療計画の進捗管理、医療連携体制とCKD・糖尿病対策の推進に向けた総合的な協議



## ■取組内容

国保・健康増進課

### 保健事業の推進

- ・長崎県版糖尿病性腎臓病重症化予防プログラムの推進
- ・糖尿病性腎症重症化予防セミナーの実施
- ・かかりつけ医等研修会の実施
- ・市町へ管理栄養士の人材派遣事業



連携

医療政策課

### 医療提供・医療連携体制整備

- ・CKDシールの作成と普及
- ・健診→かかりつけ医へ、かかりつけ医→腎臓専門医への紹介基準の普及（チラシ作成等）
- ・腎臓専門医療機関のリスト作成と周知



## ■今後の方向性

CKD対策と糖尿病対策を連動させ、市町、かかりつけ医、専門医等との効果的な連携体制を構築、推進

# 鹿児島県におけるCKD対策の取組み

「健康かごしま21」の分野別施策として、CKDの取組みを行っている。

## 1 普及啓発の推進

※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ここ数年県民公開講座の開催は行っていないが、広報誌への掲載やテレビ出演等、広報媒体を利用し普及啓発活動を行っている。

- (1) 県民公開講座の開催
- (2) リーフレットの作成・配布
- (3) 県広報媒体の活用（令和4年度は、県政広報番組への出演。「知っていますか？CKD」をテーマにインタビュー形式で、CKDの概要や予防方法、予防の重要性について周知・啓発を行った。）

## 2 人材育成の推進

- (1) 医療従事者等研修会の開催
- (2) 「CKD対策推進研究会in九州2023」において、本県の取組を紹介

## 3 発症・重症化予防の推進

- (1) CKD予防ネットワークの構築  
平成26年度から平成29年度にかけ、14市町において6ネットワーク構築。その後ネットワークの構築が進んでいなかったが、令和4年度から令和5年度にかけ2市がCKD予防ネットワークを構築。CKDの早期発見・早期治療に係る体制づくりを推進している。（計16市町村、8ネットワーク）
- (2) 「健康かごしま21CKD連携医」の県名簿の作成  
CKD予防ネットワークを構築していない市町村においても、病診連携が図れるよう名簿を作成。